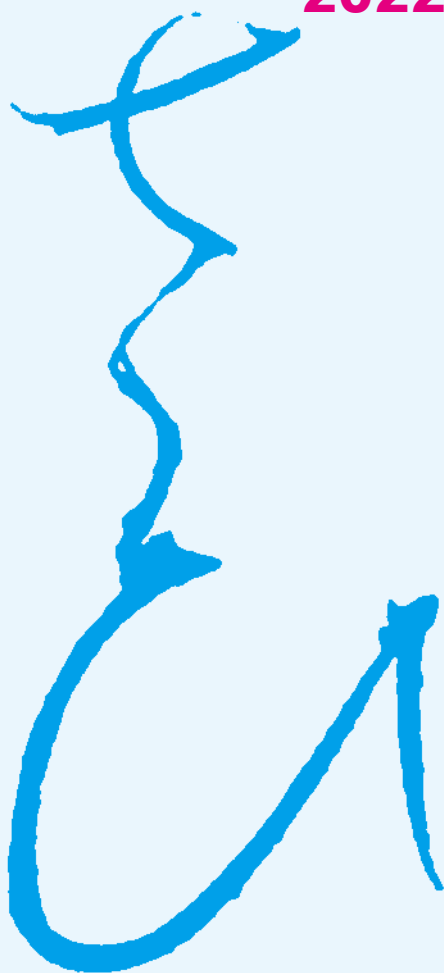


書道芸術 競書誌



令和3年 かな昇段昇級試験 成績発表
第52回風信まつり（延期開催）ご案内掲載

2022/ 1



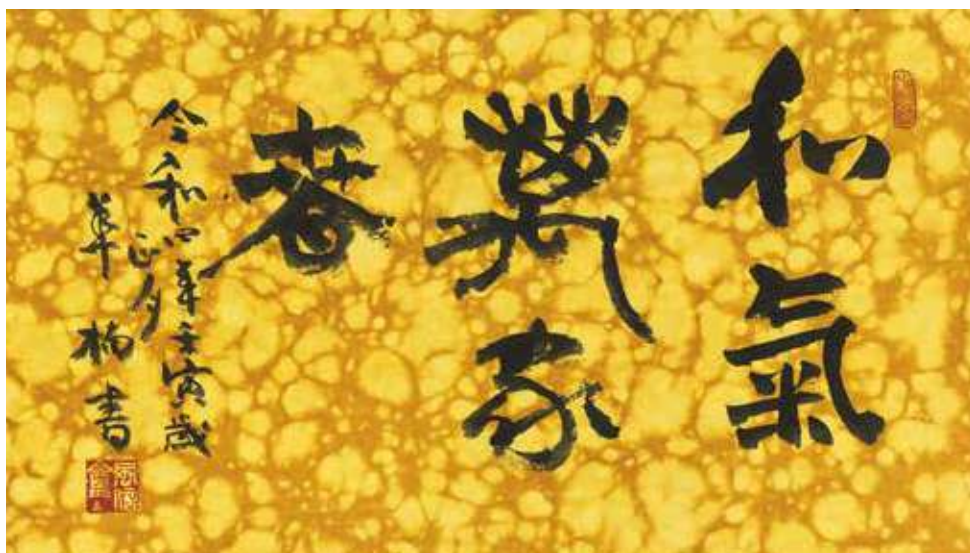
風信書道会の最新情報（お知らせ）、
毎月の優秀作品等、ホームページ
をご覧ください。



でっしうほん わ かんろうまいしゅう
粘葉本和漢朗詠集より「あさひ(朝日)」 日本 平安時代

私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。





新年おめでとうございます。

会員の皆様にはそれぞれ新しい気持ちでお正月をお迎えのことと存じます。ご健勝でご多幸を切に祈念いたします。

昨年にも悩ましいコロナ禍の中でしたが、色々と行事にはご参加下さいましてありがとうございます。

相変わらずコロナ禍の世であります、ワクチン接種の効果の陰で感染症は減少の傾向にありうれしいことです。更に三回めの接種が進めばより活動しやすくなるのではと思っています。

十二月号巻頭言に第52回風信まつりの延期開催につき、本年五月開催が「日高町文化体育館」に変わる記事を書きました。すぐ後に豊岡市から再び連絡あり、従来の総合体育館の使用が出来るので再申請する様にとのことでした。まだ正式決定の通知は参りませんが、従来通り総合体育館で出来ると思います。誠にうれしいことであり、改めてご報告いたします。

本年度の方針は引き続き特に変わりません。

一、書道を通じて人格を磨くこと…(書芸すなわち人格)

一、書道を通じて地域文化高揚に貢献する…(書道を通じた社会奉仕)

右の二点は不動の精神で、常に念願において書に親しんで下さい。次に会員増に関しては、現会員の皆様方お一人が一人を紹介下さる気持ちでお誘い下さるようよろしくお願い致します。

種々行事に関してはコロナ禍であります、極力感染防止に徹した中で積極的に行いたいと思っています。練習会、下見会、講習会、小品展開催、更に対外的な書展参加等。

終わりに、風信まつりの中止や延期等で予定が大きく遅れていますが、先に発表しています「書道塚」建設の事業は多少実現が遅れますが必ず完成させ、全会員の皆様に書道に対する感謝の指標やよりどころとしてほしいと思っています。

年頭に当たりご挨拶いたします。

何卒本年もよろしくお願い申し上げます。

芸術鑑賞

黄山谷（黄庭堅）書 李太白 憶旧遊詩卷より

（釈文）

「橋君家嚴君勇
貌虎作尹并州」



鑑賞

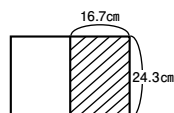
二〇二二年（令和四年）壬寅（みずのえとら）歳に因んで「虎」の字が書かれている作品を掲載しました。
中国北宋の黄山谷（黄庭堅）、北宋三大家の一人。「李太白憶旧遊詩卷」（卷子作品）の部分です。横形式ながら、草書体で上から下へ大胆に書き流した作品です。

柔よく剛を制す

支部名 段級 姓 号

（読み） 柔よく剛を制す

（意味） 柔和な者が、かえって強い者に勝つことがあるものだ。



作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 ✕ 切 】

実用競書(細字課題)(特級以上)

(半紙)



(読み) 壬寅・鏡餅・御年賀

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

（読み） 壬寅
みずのえとら

支部名
級

姓
号

壬寅

※○印余白に注意

右少し長く

あける

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

漢字高等部（特級～五段）

臨 欧陽詢「九成宮醴泉銘」

（半紙）

支部名 潤流

段

姓

号

下謙

潤流 友

下謙

〈参考〉

（釈文） 流謙潤下

（読み） 謙に流れ下を潤し、

（意味） 醴泉の水は低きに流れて地を潤し、

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

首 非
忠 以

支部名
段
姓
号



首 非
忠 以

高く
受けて

（参考）

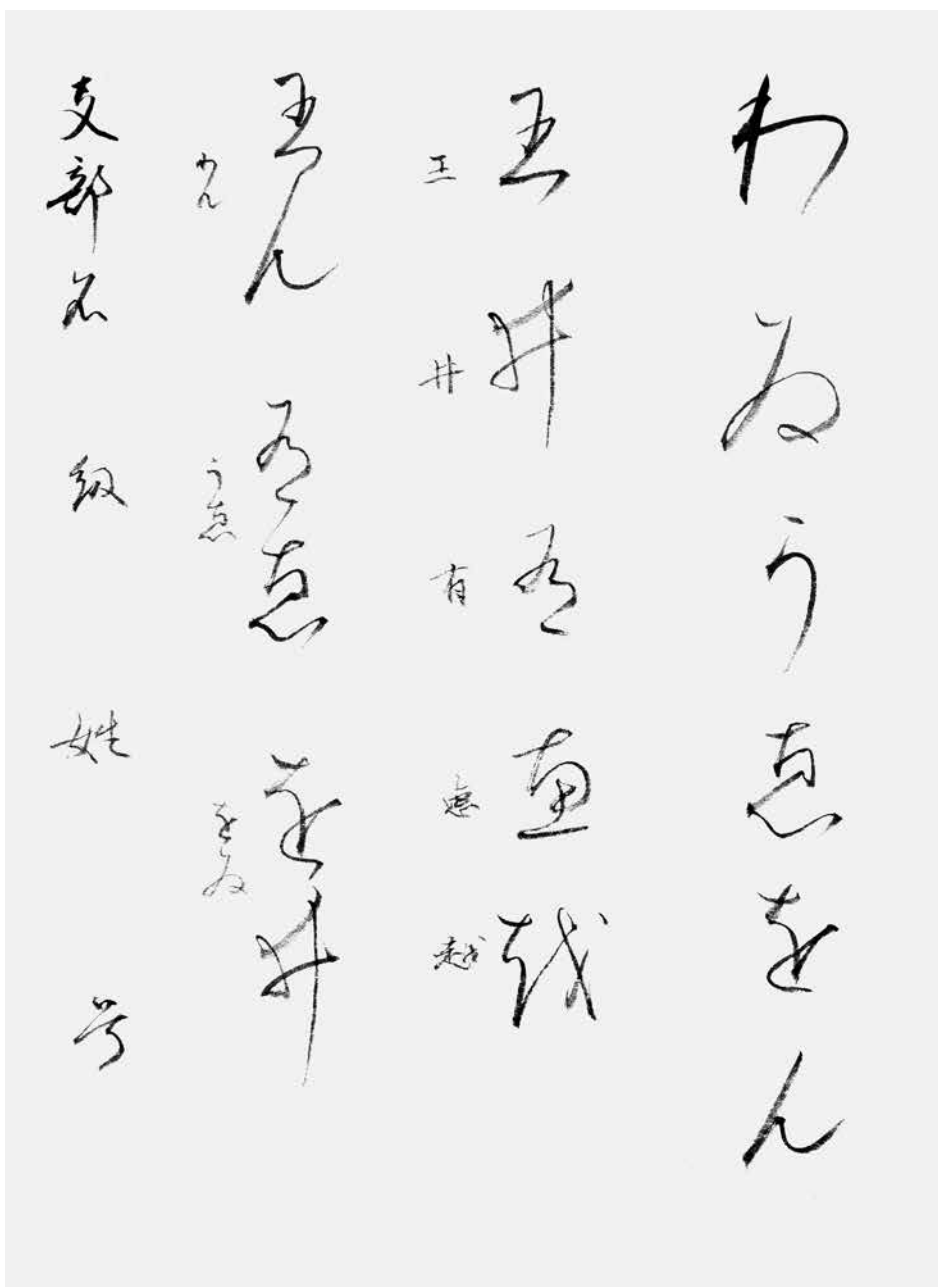
（釈文）首公非忠
（読み）公を首とす。（忠益の論に）非ずんば、
（意味）正しい道を行なうことは公を最初とする。

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

かな初等部（はじめて～1級）

(半紙)



(积文)

わぬうゑをん
王井有恵越
王ん 有ゑ を井

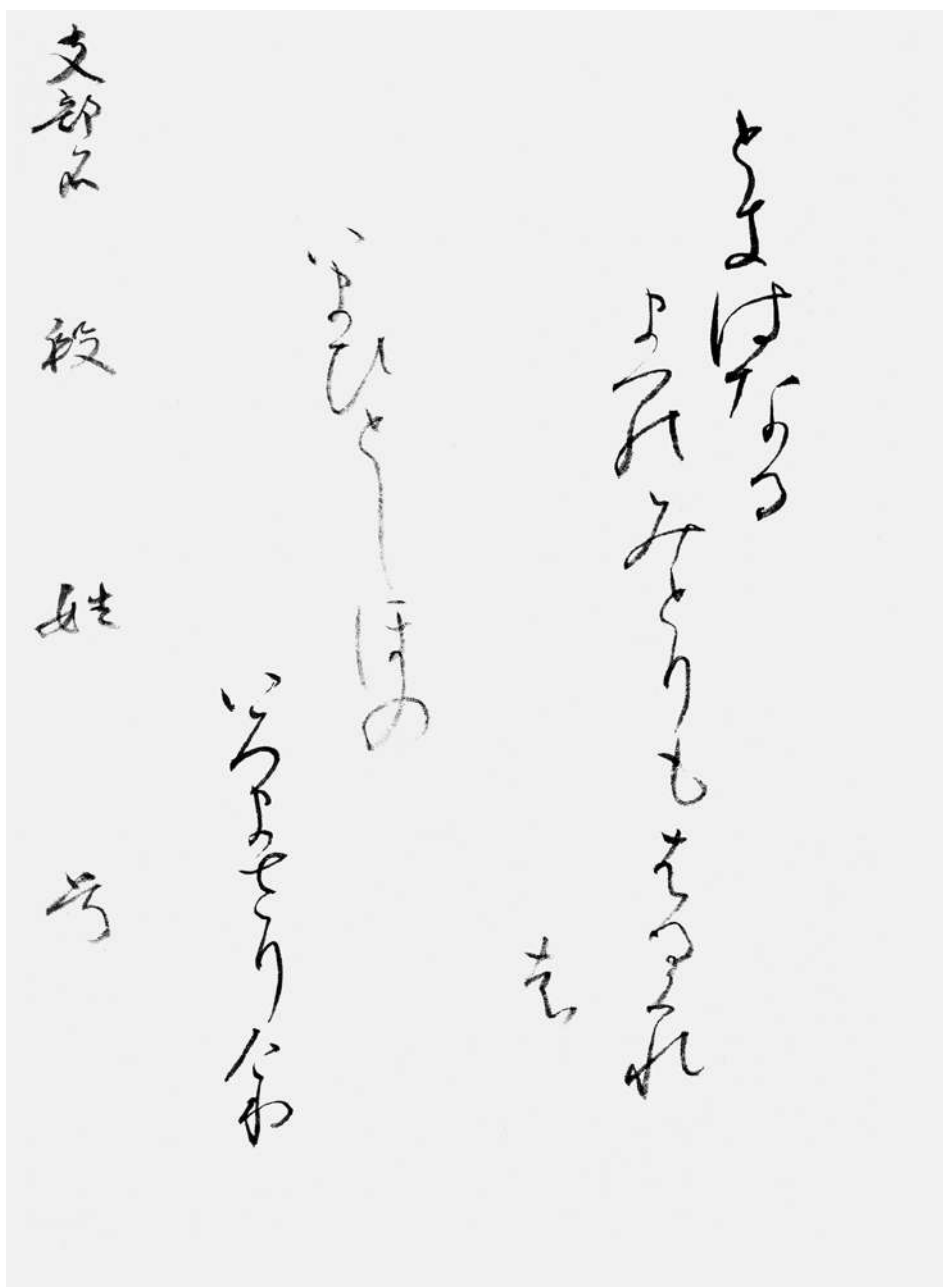
作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 ㄉ 切 】

かな高等部（特級～五段）

臨 粘葉本和漢朗詠集

（半紙）



〈参考例墨調の変化〉書き出し「と支はなる」で含墨、二行目「者るくれ」、五行目「いろまさり」で墨つき。

（釈文）

と支^きはなる

まつ能^のみとりも者^はるくれ

者^は

いまひとしほの

いろまさり介^け利

（読み）

ときはなる 松のみどりも

春来れば いまひとしほの

色まさりけり

（意味）

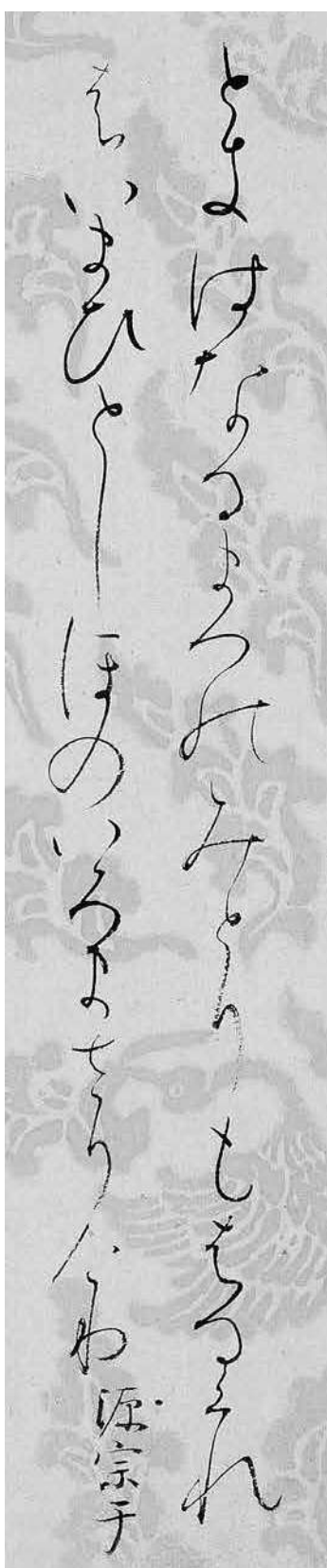
いつまでも変らぬ松の緑も、春が来ると、やはり一段と色が濃く鮮やかになったことだ。

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

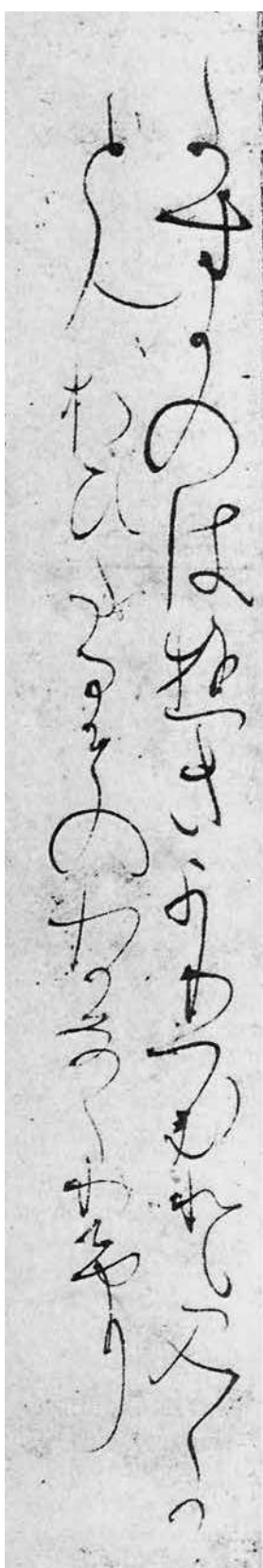
【 2 月 10 日 〆 切 】

かな高等部・かな専門部 古筆原帖

粘葉本和漢朗詠集(部分)



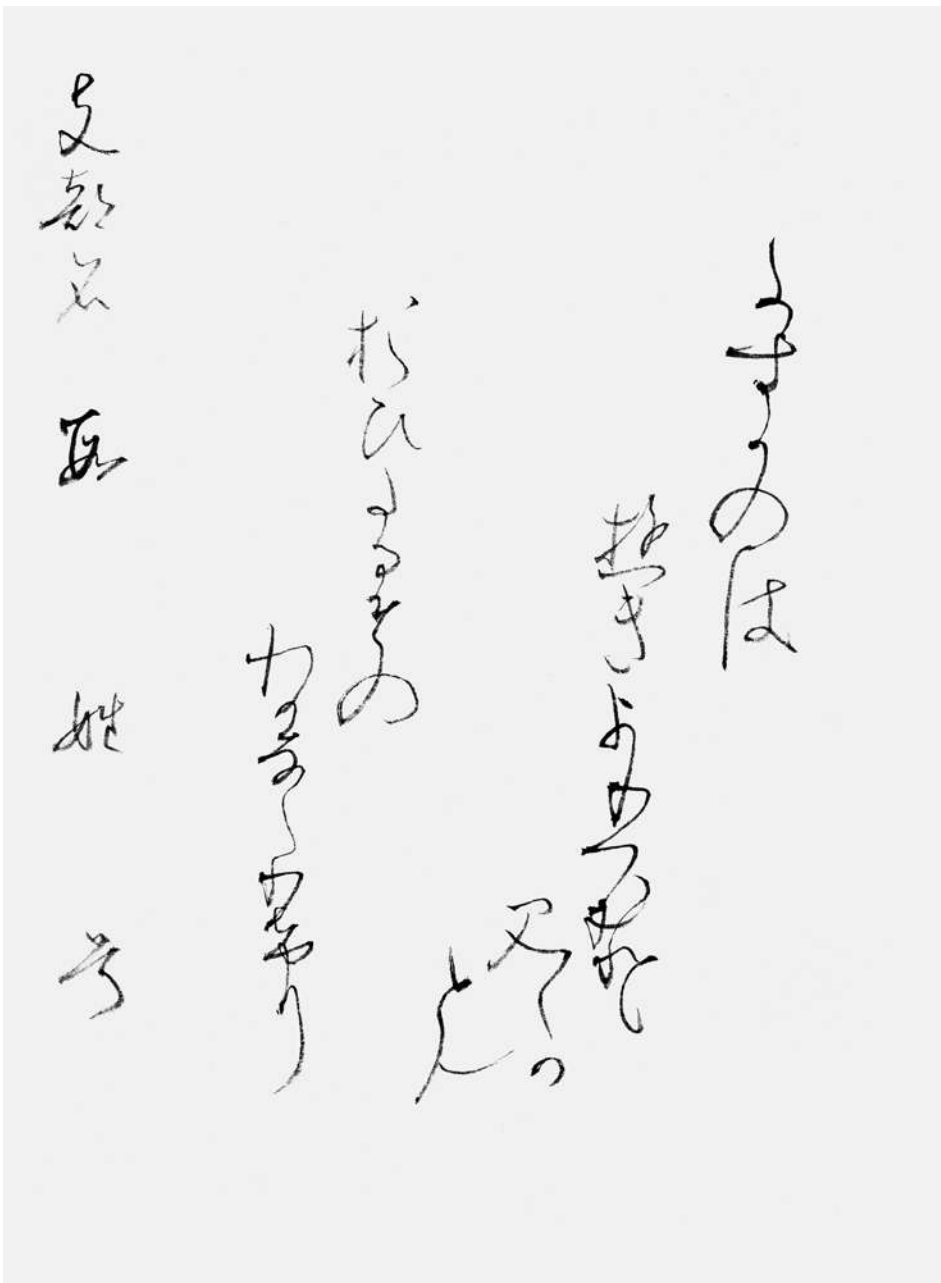
香紙切(部分)



かな専門部（準師範補→正師範）

臨 香紙切

（半紙）



〈参考例墨調の変化〉書き出し「可す可の」で含墨、二行目「よ利つむ」、六行目「わ可な」で墨つき。

（釈文）

可^かす可^かのは

遊^ゆきよ利^りつむ登^と

見^みし可^か

と无^も

於^おひ多^たる毛^もの

わ可^かな利^り希^けり

（読み）

春^{かすがの}日野は 雪^{ゆき}ふりつむと

見^みしかども 生^おひたるもの（は）

若^{わか}菜^{かな}なりけり

※（は）欠落

（歌の解釈）

春日野といえ、ずつと雪が降りつもる地だとはかり思っていました、今、一面に生えているのは春の草ではありませんか。

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

ペン字初等部（はじめて～1級）

（風信指定硬筆用紙）

元旦や

大樹のもとの人ごころ

（意味）新しい年の明けた朝、大木の下に立つと、自然の生命の確かさを感じさせ、心のやすらぎを覚える。

ペン字高等部（特級～五段）

（風信指定硬筆用紙）

青々たる園中の葵、朝露日を待ちそ啼く
陽春徳澤を布き萬物光輝を生ず。

（意味）あおあおとした園の中のおおい、その葉におりた朝露は、朝日とともにかわいてしまう。

この、のどかな春は、一面にめぐみを広げて、万物が生き生きと輝きはじめる。

※清書は指定の用紙で出品すること ※黒インク・ペン使用、ボールペン不可
30枚つづり1冊60円（消費税込み）。50冊以上は一部引（但し送料は別）

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

西宮夜靜百花香
欲捲珠簾春恨長
斜抱雲和深見月
朧朧樹色隱昭陽

※右の詩を行書で創作して下さい。

（読み）西宮夜靜かにして百花香ばし。珠簾を捲かんと欲すれば 春恨長し。

斜めに雲和を抱いて深く月を見れば、朧朧たる樹色昭陽を隠す。

筆ペン課題（はじめて〜1級）

※毛筆タイプ筆ペンの使用を推奨

（風信指定硬筆用紙）

謹賀新年
謹賀新年

筆ペン課題（特級以上）

※毛筆タイプ筆ペンの使用を推奨

（風信指定硬筆用紙）

家族で書き初めを楽しみます

※字間の取り方に注意して書いて下さい。

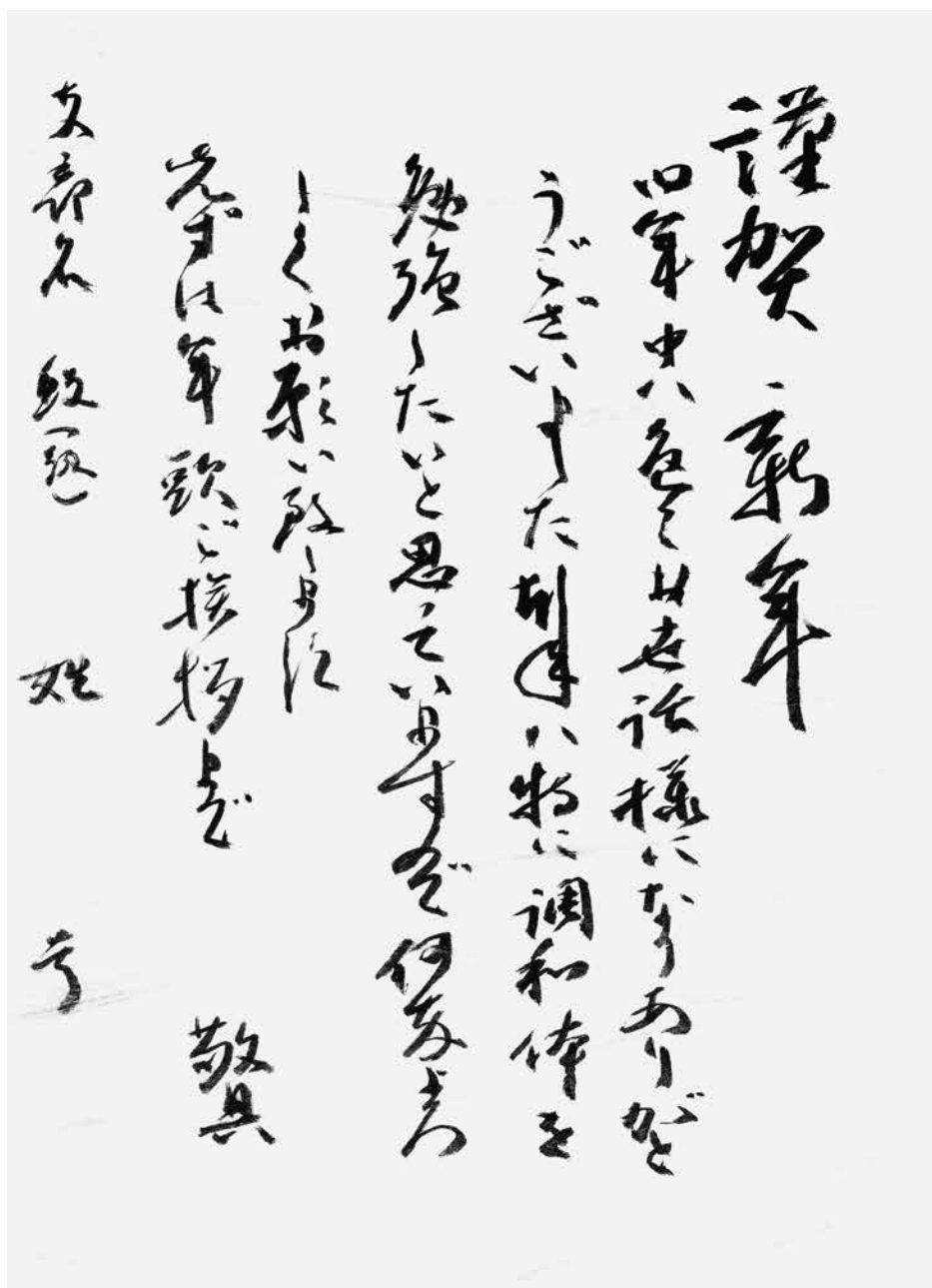
※Instagram「taisui88」、
YouTube「風信書道会」チャンネルで動画を公開しています。

※清書は指定の用紙で出品すること
黒インク・ペン使用、ボールペン不可

30枚つづり1冊60円（消費税込み）。50冊以上は一割引（但し送料は別）

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【2月10日〆切】



(読み) 謹賀新年

旧年中ハ色々お世話様になりありがと／うございました。本年ハ特に調和体を／勉強したいと思つていきますので何卒よろ／しくお願い致します。先ずは年頭へ挨拶まで 敬具

〈墨つぎ〉
書き出し「謹賀…」
二行目「旧年中…」
三行目「…本年ハ…」
五行目「…お願い…」

作品左側に「支部名」「段級」「姓号」を墨書して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

漢字条幅（全段級共通）

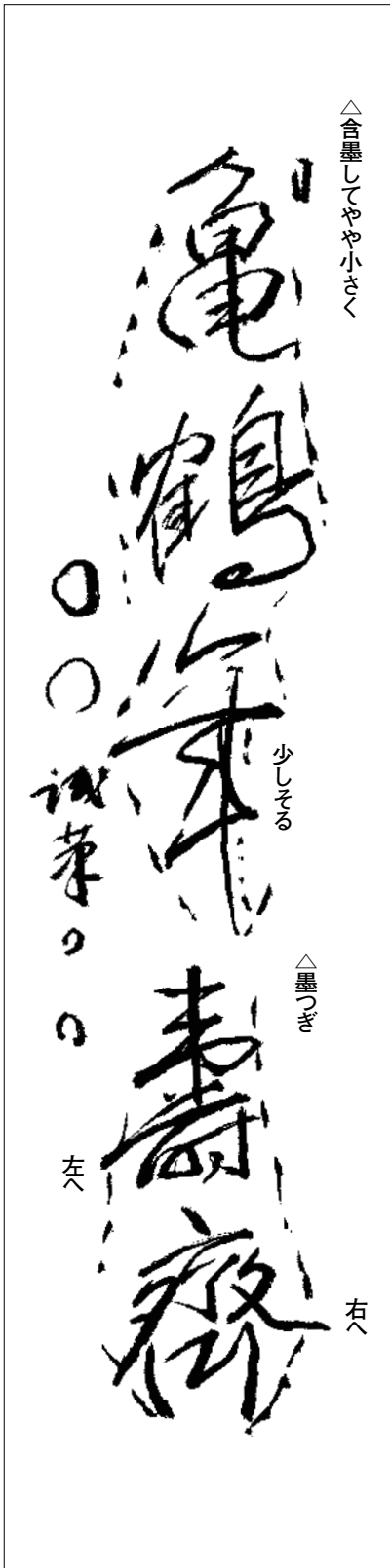
（画仙紙半切）



（釈文） 亀鶴年壽齊

（読み） 亀鶴年壽齊きかくねんじゅひとし。

（意味） 亀は万年、鶴は千年と言うが人の年もそれにひとしい。



作品左下に鉛筆で「支部名」「無鑑査／天位／地位○級」「姓号」を明記して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

かな条幅（全段級共通）

名手朱舟先生書（画仙紙半切）

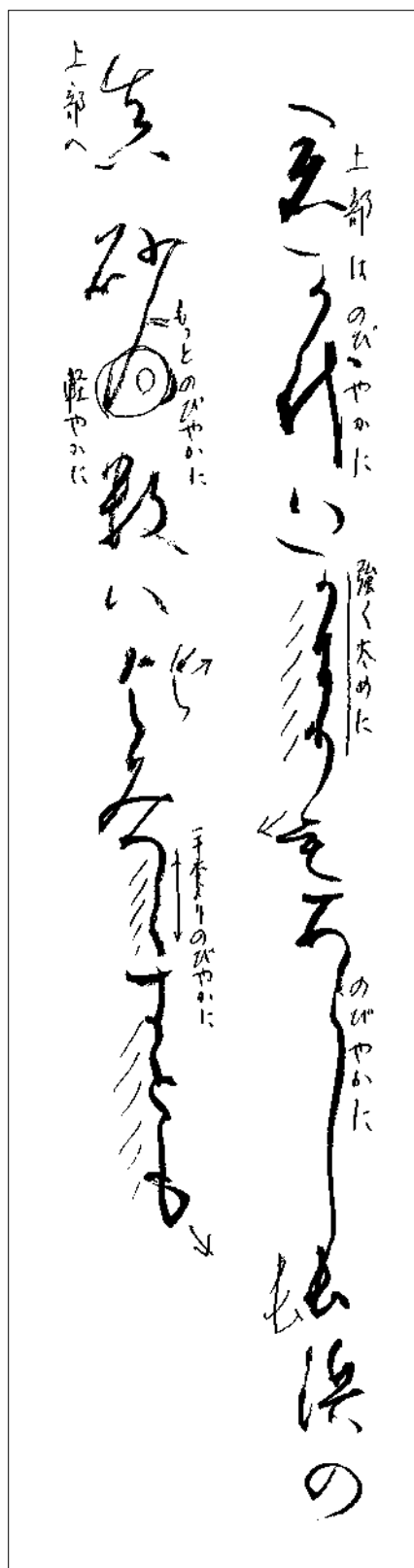


(釈文) 君可代ハ可支利毛あらし長浜の

真砂の数ハ与^はみつくすとも

(読み) きみが代は かぎりもあらじ ながはまの 真砂の数は よみつくすとも (神遊びの歌)
(意味) 聖寿は限りもないことであろう。長浜の砂の数はかぞえ尽すとも、御齡はかぞえきれないであろう。

（意味）聖寿は限りもないことであろう。長浜の砂の数はかぞえ尽すとも、御齡はかぞえきれないであろう。



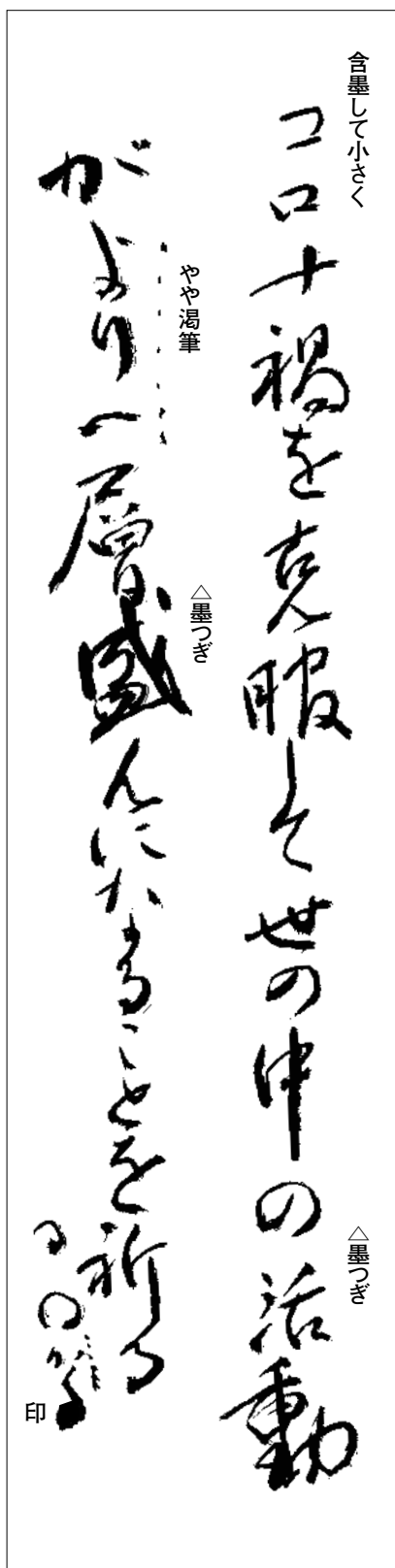
調和体（漢字・平かな・片かなの混合体）（全段級共通）

（画仙紙半切）



（読み）コロナ禍を克服して世の中の活動がより一層盛んになることを祈る。

※変体かな（草かな）を使わない。
※掲載の作風にとらわれず、自由に創意工夫を加えて下さい。



作品左下に鉛筆で「支部名」「姓号」を明記して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

少字数課題（全段級共通）

第162回 「寅」

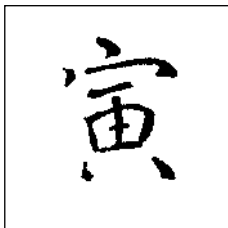
— 書芸術を堪能してみましょう —

（画仙紙半切3分の1 タテ・ヨコ自由）

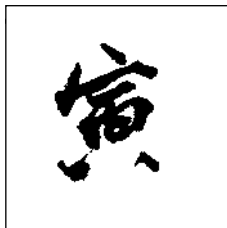
【参考例】



※下に記載した書体等を材料に自由に表現して下さい。



褚遂良（唐）



趙之謙（清）



乙瑛碑（後漢）



吳昌碩（清）

作品左下に鉛筆で「支部名」「姓号」を明記して下さい

【 2 月 10 日 〆 切 】

水墨画教室(第508回)

「真鯛」



(タテ24×ヨコ33cm、半紙でも可)

岩田健一郎 先生画

制作にあたって

あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

新年度にあたって、今までの事例作品を振り返りながら、検証しているところです。水墨画について書道家は、線描をできるだけ使わない付け立て法(没骨法)をイメージされている方が多いかと思えます。しかしながら未だに小生は、対象を簡略化した写意的な表現まで至っていないことは痛感しています。毎回、描く対象を観ながら表現技法を模索するタイプであり、ただ単に技法のみを追求することは本意ではありませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

新年号は竹の盆ざるに鯛を乗せた組み合わせを墨彩画で描きました。手法はオーソドックスに外形や構造的な形は線描、ヒレは渴筆、鱗は点描で、さらに淡、中墨で調子等をつけ鯛の特徴を表現します。ざるは竹を編んだ雰囲気を描きました。最後に鯛を赤色と朱色で、竹のざるは黄土色で彩色して完成です。

墨色の出る用紙を使用して下さい。

下側に支部名・姓号を鉛筆で記入して下さい。

【 2 月 10 日 〆 切 】

かな昇段昇級試験 優秀作品(準成家～準師六段)

半切条幅



辻 慶風 山名 淑苑 夜久 桂苑 京口 準七 彦風



西花 高 山下 富子 風林 小畑 稲翠 地山 連八 山本 千峰



柴本 昭風 水田 佳苑

臨書①・臨書②・半紙創作

臨書③



植野 正華 五十嵐由碩 能見 翠竹

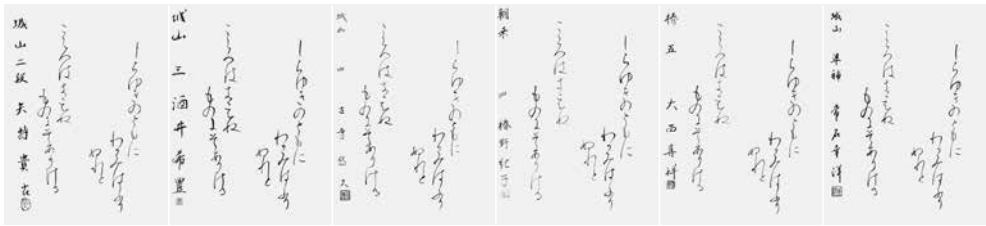
かな昇段昇級試験 優秀作品(準師範補～二段)①

半切条幅

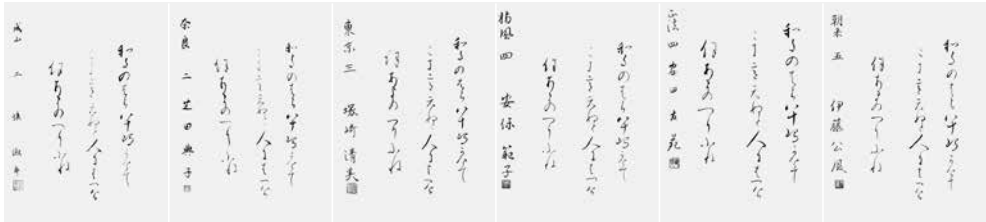


岸本 玉葉 林 美峰 柴田 千翠 根兵 純蘭 古家 明美 竹内 和峰

かな昇段昇級試験 優秀作品(準師範補～二段)②



矢持 貴古 酒井 希豊 古寺 悠久 椿野 紀子 大西 喜祥 常石 幸洋



慎 淑希 芝田 典子 塚崎 清美 安保 範子 安田 友苑 伊藤 公風



篠原 慎吾 板高 厚子 金子 美碧 高嶋 洗石

古筆臨書①

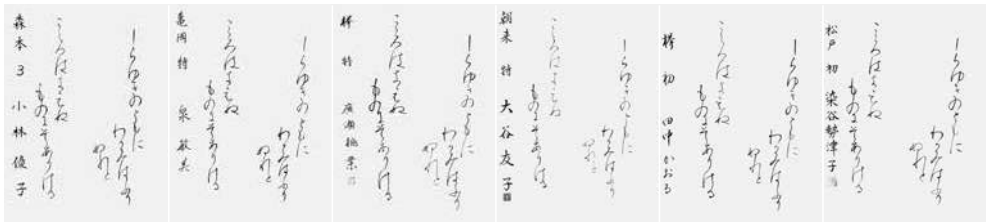
古筆臨書②

古筆臨書③

かな昇段昇級試験 優秀作品(初段～3級)



笠谷 陽子 荻本 嘉代 福富 碩帆 堀 華秀 中田 鶴雪 中田 和美



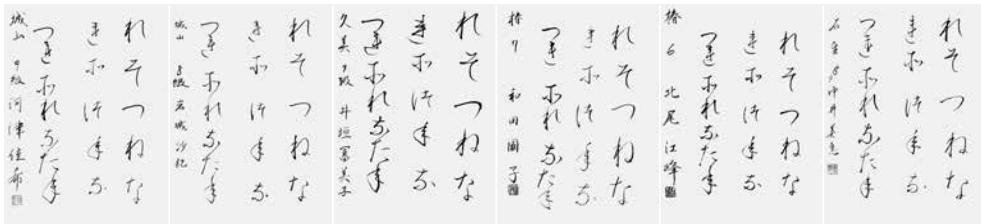
小林 優子 泉 敏美 廣瀬 桃葉 大谷 友子 田中かおる 染谷勢津子

俳句

古筆臨書①

かな昇段昇級試験 優秀作品(4級～新)

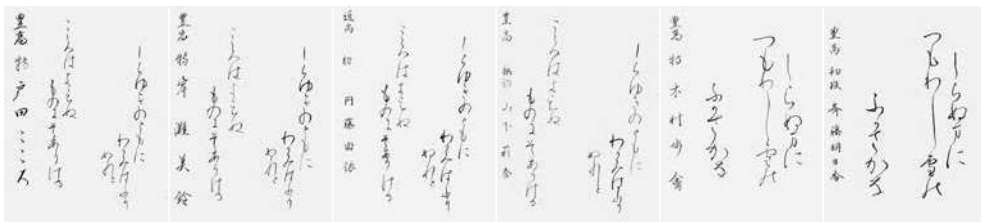
古筆臨書②



河津 佳希 岩城 沙紀 井垣富美子 和田 國子 北尾 江峰 中井 美恵

かな昇段昇級試験 優秀作品(高校生)

俳句・臨書①



戸田こころ 岸灘 美鈴 円藤 由依 山下 莉奈 木村 歩禽 斉藤明日香

11月号競書優秀作品

実用書(特級以上) 審査総評

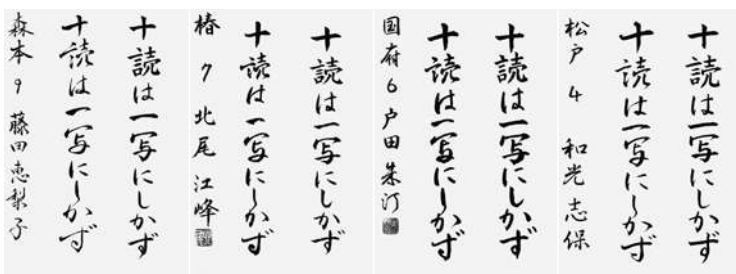
一字一字をしっかりと学び、字の重心を揃え真直ぐに見える様に書くこと。行間や左右のバランスや余白に注意すること。草書の行が小さくならないこと。氏名の大きさにも留意すること。これだけであれば、Aランクです。

実用書(1級以下) 審査総評

全体的には、美しく整った字がまともによく書けていました。気をつけてほしいのは、「一」と「写」の字間が狭すぎる方がありましたので、ゆとりを意識して書きましょう。また「一」の行書の入筆、止筆の仕方をしっかりと学んで下さい。



杉山 多季 細川 栄香 宮垣 典雅



藤田恵梨子 北尾 江峰 戸田 朱汀 和光 志保

11月号競書優秀作品

漢字専門部

審査総評

「李思訓碑」の勉強も長らく行つて参りました。概して、造形はやや背高く、線は細味で強く、こうした特徴を頭に置いて取組んで下さい。厳しく強い線を出すため筆にひねりを加えて紙を切るような筆使いを試みて下さい。



小笠原笙瑩

川崎 學篁

椿野 正芳

山本 博山

漢字高等部

審査総評

九成宮醴泉銘は背勢に構え、シャープな線が求められます。一見して特長が見て取れるように書いて下さい。写真版の作品はその特長が良く発揮されている作品です。継続して学んで筆法や字形をマスターしましょう。



藤木 恭子

亀井さわ子

志水 佳泉

河嶋 隆則

漢字初等部

審査総評

全体に形よく出来上がっていました。「晩」の最終ハネをしつかり筆を押し上げ、「秋」の右ハライをゆつくり堂々と仕上げてもらうと良い作品になります。



依田眞由美

フェルナンダ・コスタ

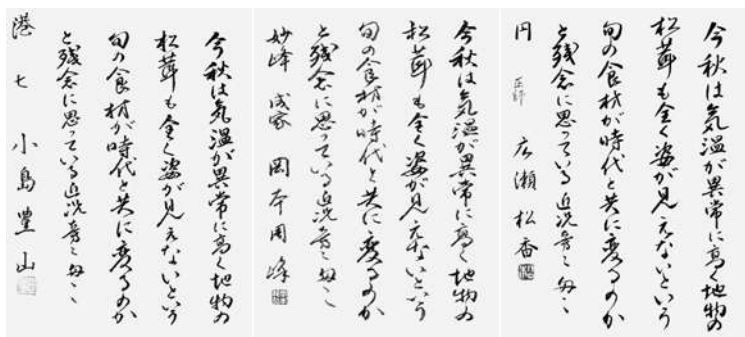
片岡 泰代

西村 康平

手紙

審査総評

漢字調ということで、強さを求めすぎた作品が見受けられました。かな調よりも多少は太く強く書きませんが、読むのに疲れるような書きぶりはありませんかと思えます。漢字調でも楽に運筆できるように、ご留意下さい。



小島 豊山

岡本 周峰

広瀬 松香

11月号競書優秀作品

ペン字専門部

審査総評

「行書で創作」と一口で言っても、漢字が楷書とほとんど変わらないような堅い字体の方から、流れを意識したやわらかい字体の方まで幅がありました。漢字と平仮名を上手に調和させて、余裕のあるペン運びができるというですね。

ペン字高等部

審査総評

今月は、楷書で創作する課題でした。楷書で自分で書ける様に力を付けなければいけません。さすが上段位の方は上手にまとめていらつしやいました。少し字幅がなく、少し貧相に見える作品も多く見受けられました。ある程度行の振幅を意識して書きましょう。

仏壇も家具調へと移行する傾向があり設置場所も和室からリビングへと変遷してきました。最近色々デザインで自由に祭ることが多くなっています。
余田 蒼崖

仏壇も家具調へと移行する傾向があり設置場所も和室からリビングへと変遷してきました。最近色々デザインで自由に祭ることが多くなっています。
門間 泰園

仏壇も家具調へと移行する傾向があり設置場所も和室からリビングへと変遷してきました。最近色々デザインで自由に祭ることが多くなっています。
奥村 皋月

近年お墓を継がず墓じまいとして合葬墓に埋葬する樹木葬海洋葬宇宙葬や自宅に骨を保管するなど供養の選択肢が増えています。
進藤 和重

近年お墓を継がず墓じまいとして合葬墓に埋葬する樹木葬海洋葬宇宙葬や自宅に骨を保管するなど供養の選択肢が増えています。
三島 礼子

近年お墓を継がず墓じまいとして合葬墓に埋葬する樹木葬海洋葬宇宙葬や自宅に骨を保管するなど供養の選択肢が増えています。
藤原 瑠美

ペン字初等部

審査総評

今月は二行書きで、用紙の線の上に書けたので、あまりガタガタせず、すっきりと書けたように思いました。やはり中心線があると書きやすいですね。自分のくせが一番出やすいので、お手本をよく見て、ゆつくりと書いてほしいです。

筆ペン課題

審査総評

特級以上の課題では、文字群として結びつきを強めて、字間に変化があるように見せるといった技術もあります。そういった意識でお手本を眺めてみて下さい。1級以下の写真版の作品は、造形・線質ともにすばらしい出来ばえです。

従来の埋葬方法は墓を建て納骨する方法と寺の納骨堂に納めるかの二種類が主であった。
小中 春汀

従来の埋葬方法は墓を建て納骨する方法と寺の納骨堂に納めるかの二種類が主であった。
吉田 明美

従来の埋葬方法は墓を建て納骨する方法と寺の納骨堂に納めるかの二種類が主であった。
清水 千晴

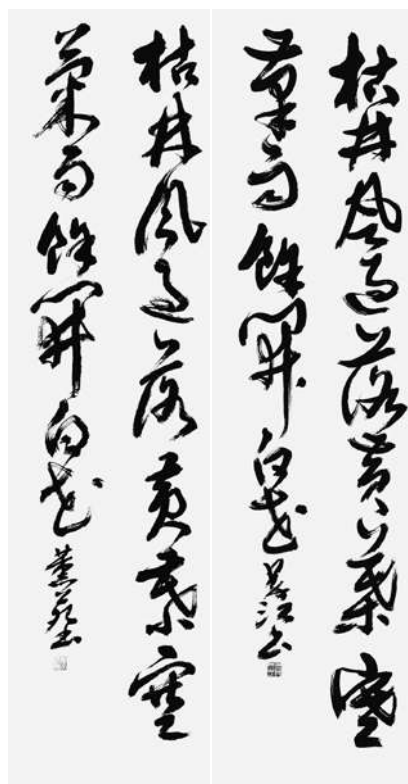
木枯らしが吹き荒れている
中島 恭子

御歳暮 御歳暮 粗品 粗品
河南 梨央

御歳暮 御歳暮 粗品 粗品
泉 はるか

漢字条幅

審査総評 一行目後半、二行目の墨つぎの箇所にしつかり入墨すると作品がしまつて良くなります。又、「開」の終筆を太く止めて、「落」のハネとの変化をつけたら、余白ができる箇所が上下に二分されないよう気をつけて下さい。



原 薫苑 岩井 翠江

調和体

審査総評 二行目山場「変化し」の「変」を意識しすぎた作品が多く見受けられました。調和体の多字数の作品では、特定の文字を一つ大きくするのはなく、文字群として数文字で山場を構築すると思います。



三木 雪華 足立 希柳

少字数

審査総評 課題は「曉」縦型式5点、横型式11点。縦型式の5点は比較的安定していました。横型式は参考物に準じたものが多く写真版の一点を除いて平凡でした。線の太細・長短をつけて、変化のある造形を常に考えて下さい。



千々岩青香



石田 碩雪

随意

審査総評 法帖や古筆の臨書は、魅力が沢山あります。線質・躍動感・半紙へのおさめ方等々、学び、考える要素がいくらでもあります。左側に支部・法帖名・姓号と書いて下さい。審査がよりスムーズに行えますので、ご協力下さい。よろしくお願い致します。



小畑 稲翠 大槻 紫苑

11月号競書優秀作品

高校生 漢字

審査総評

欧陽詢の書は「無駄のない線で楷書の極則(理想的な楷書)」と言われています。胴体を引きしめた縦長の構えを捉える事をまず第一にして、一点一画を忠実に、起筆からていねいに筆を進めてみましょう。

高校生 ペン字

審査総評

今月は楷書課題でしたが、いずれも造形がよく整い、収まりのよい作品が揃っていました。ただ単調になりすぎない様に、行の振幅に注意したいものです。強弱・大小等を考えながら、魅力的な楷書になるとと思います。

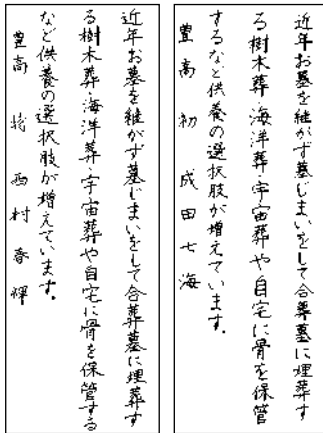


畑中

舞

齊藤明日香

鳴海 優花



西村 春輝

成田 七海

水墨画教室

総評

大槻さんは松の幹の質感、松葉の描写、さらに遠近感を含めた枝ぶりのバランスが絶妙です。宮垣さんも大胆かつデリケートな描画で、力強さが表れている作品でした。吉見(明)さんはリズムカルで美しい枝ぶりですが、松の葉の表現を工夫してください。由良さんは、松の葉を渴筆で上手く描かれています。



吉見 明翠



宮垣 典雅



大槻 紫苑

正小亦元鳩城華 法人人桑山心	京生城余和 都田崎部光	余部光 谷口真紀 小笠原登	和部光 朝来来 小笠原登	正法 杉山 多季	小陰亦 人桑 手塚垣	中府竹 戸加和 田藤田	網野 戸加和 田藤田	松朝華石 戸来心生 波瀬川	丹波京 植塚 正華	西花 山本 佳世	準高 高士 紅世	亦城と 山がが 野清水 村立中 柳舟月	とが 中島 涼月	とが 中島 涼月	奈良 三宅 光學 苑	高士 高士 高士
岡藤常尾安畑尾 原石川田上	横山原 峰雪	正岡法 川竹本 彩美苑	朝来来 樺野谷 紀友参 子子碩 峰	松小府 河嶋 美隆 峰	港陰城 谷深水 勝香伸 苑風昭 盛	城崎山 水山川 茂昭盛	楠和風 余中島 恭美根 子	準師 範補 和光 余中島 恭美根 子	丹波京 植塚 正華	西花 山本 佳世	準高 高士 紅世	亦城と 山がが 野清水 村立中 柳舟月	とが 中島 涼月	とが 中島 涼月	奈良 三宅 光學 苑	高士 高士 高士
小原美松 知都	朝中陰城 来信峰山	城崎山 井松本 波井波 希希子	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
多本秋山 田庄丸岸	清足田 水立中 美昭美 鈴敏苑	井松本 波井波 希希子	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
椿国亀西中 府岡岡竹橋	山高陰 香屋	波多野 恵美 紀未卓 美哉宏	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
春日城 山崎 奥野 絵里奈	城崎山 古岡 陽子	市松本 能勢志 穂子	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
八鹿井 上	西花山 本	妙峰 岡本 周峰	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
陰神奈 垣森油 垣田谷	和国光 成内	石生中 高藤原 幸幸玉	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
幸陰陰と 川山段中 邊路中島 ひ実陽美 美歩子	とが 小良 和明 和美	京三泉 都方心 山吉田 岸井村 裕里八 子苑代 華	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
姫国府 路伊小 弘春美 汀	小良 赤松 恭樹	中陰信 藤下井 富利貴 佳	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
中谷信 堀上増 純一朗	市島中 信○石 田	市島中 信○石 田	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美
華長公 今井金 井奈美 華	市島中 信○石 田	市島中 信○石 田	城崎山 井松本 波井波 希希子	二 久美 久美	中とが 久美 久美	西崎山 久美 久美	松小府 河嶋 美隆 峰	三 久美 久美	市港島 久美 久美	元春公 久美 久美	石中島 久美 久美	高生石 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美	三 久美 久美

[illegible]



ペン字

初 段	豊高 成田 七海
A	豊高 齊藤 明日香
B	豊高 富田 峻介
特 級	豊高 西村 春輝
A	豊高 畑中 舞
B	豊高 岸 美鈴
1 級	松戸 林 涼音
B	亀高 増田 和瑞
2 級	上宮 堀 烈炎
B	和支 柴 雅里余
4 級	近高 井垣 大晟

12月号作品メ切の変更

1月10日(月/祝)は風信書道会館は休館になります。
作品メ切を1月11日(火)に変更いたします。ご注意ください。

作品下見会・行事のご案内

☆1月11日(火) 午後2時～午後7時

作品下見会 (場所…風信書道会館)

※兵庫県書道展、書芸院展に向けた作品添削を行います。

※1月16日(日) 青潮書道会 書芸院展研修会に持参する作品を集めます。日本書芸院の無鑑査会員、二科審査員、一科審査員の方は作品でご参加できるようにご準備下さい。

☆1月28日(金) 午後2時～午後7時

兵庫県書道展選別会 (場所…風信書道会館)

※兵庫県書道展の作品メ切です。

☆2月8日(火) 午後2時～午後7時

日本書芸院展作品選別会 (場所…風信書道会館)

※日本書芸院展の作品メ切です。

※2月10日(木) 必着の青潮書道会の選別会に参加する作品を選別します。青潮書道会選別会会費(4,000円)を別途徴収します。

書壇ニュース

◎第24回兵庫県書道展「新春の書」

会期 令和4年1月2日(日)～11日(火)
会場 さんちかホール

※本会より細川翠楠、西村鶏洲、岩井翠江、余田蒼崖が出席

◎新春名流書道展 第55回「一松會」

会期 令和4年1月2日(日)～11日(火)
会場 神戸阪急新館7階 美術画廊
※兵庫県書作家協会を代表する役員の先生方が出席されます。

◎謙慎書道会主催「北魏の書 受容と検証」

会期 令和4年1月11日(火)～16日(日)
会場 セントラルミュージアム銀座
(第63回東京謙慎 有山社書展 同時開催)

REPORT

NTT OB・OG電友会 奈良支部 書道部作品展

会期 2021年11月1日(月)～30日(火)
会場 NTT奈良支店三条ビルショールーム

例年通り作品を展示しました。昨年は7か月間もコロナ禍で教室閉鎖となり、通信での作品づくりでしたが、力作が揃いました。来場者とショーウィンドー鑑賞によりご高覧いただけました。

(馬杉由琴 記)





風信書道会研究部
写経講座・通常総会
2021年12月5日(日)
於 風信書道会館

通常総会に先駆けて行われた写経講座では、宝泉寺住職であられます井上宗圓様から「般若心経の心と詩の世界」と題して法話をいただきました。写経についてオールカラーの解説書を研究部で準備され、法話の後は参加者で実際に写経を行いました。参加いただいた部員の皆様は心を落ち着かせる大変有意義な時間となったと思います。

研究部では、競書誌で学びきれない書の周辺知識や日本や中国の書道史について充実を図ることができます。また、研修旅行や作品展など気楽な行事も行っています。新規部員の入会をお待ちしております。お問い合わせは風信本部または代表・余田蒼崖さんまでお願い致します。

Editor's Postscript 編集後記

本年も競書誌『風信』にご厚情を賜りありがとうございました。個人的にはコロナ禍を駆け抜けた一年でした。風信まつり延期を経験しましたし、オンラインでの新しい講習や交流には戸惑うばかりです。夏以降は所属する青潮書道会の活動も再開し、書友の皆様と顔を合わせる機会が増えました。コロナ禍での活動で会派や各個人で随分と差が生まれている事実も把握できました。

2022年を迎えるにあたり、コロナ禍も終息に至らないまでも収束には向かっているように感じます。テレビは相変わらず煽動が見られますが、変異株に対しても日本は今のところうまく対応できているようです。1月に行われる感染症分類の見直しで、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同格になるよう期待しています。

皆様におかれましても年末年始ご自愛の上お過ごし下さい。来る年が実り多き素晴らしい年となるようご祈念申し上げます。

(12月21日 細川太翠 記)

『風信』第75巻 第1号 通巻第895号
令和4年1月1日発行
定価616円(税込・送料別)

〈題 字〉 空海筆「風信帖」

〈発行人〉 細川 満

〈発行所〉 風信書道会

〒668-0805 兵庫県豊岡市船町263-3

Tel:0796(22)5844 Fax:0796(24)5800

URL:www.fushin.jp

〈印刷所〉 榊北星社

〒668-0061 兵庫県豊岡市上佐野1620

Tel:0796(22)4141(代) Fax:0796(29)2246

〈手本揮毫〉

細川 翠楠(一般毛筆・一般ペン字・学生かな)

細川 太翠(学生毛筆・学生硬筆・筆ペン課題)

名手 朱舟(条幅かな)

岩田健一郎(水墨画教室)

〈編集〉

細川 翠楠・細川 太翠・垣谷 碧葉・

細川 行三・細川 柳雪・中尾 保

〈郵便振替〉

口座番号 01160-3-25459

口座名義 風信書道会

“21世紀の「書」を求めて”

第52回 風信まつり出品案内

テーマ「古典を学ぶ」— 臨書作品(形臨・意臨・背臨)をご出展下さい。—

昨年延期せざるをえなかった「第52回風信まつり」を巻頭言にありますように、例年と同じく豊岡市立総合体育館を会場として行えるようになりました。

昨年は出品せず、本年の新規出品については2月号にて詳細をお知らせします。本号では大まかなスケジュールと新規出品者の方へ向けた出品規格を中心にのご案内致します。

●日程(予定)

【作品〆切】

○新規出品者・新高校生の作品〆切

[作品受付：風信書道会会館]

令和4年3月20日ごろを予定

○学生の部〆切

[作品応募先：風信書道会本部]

令和4年4月上旬を予定

【主な展覧会スケジュール】

令和4年5月2日(月) 会場設営

令和4年5月3日(火/祝) 初日

令和4年5月4日(水/祝) 2日目

令和4年5月5日(木/祝) 最終日

令和4年5月6日(金) 会場撤収

【祝賀懇親パーティー】

新型コロナウイルス感染症のため中止を検討中。表彰式については開催の方向で検討中です。

●会場(予定)

豊岡市総合体育館(豊岡市大磯町)

●錬成会

一日錬成会を予定

●出品規格 ※作品サイズは作品本紙の寸法

★一般の部 A (主に初心者)

臨書作品を出展して下さい。

- ・色紙、長半紙、半紙、半懐紙、半切3分の1等の作品。

★一般の部 B (主に条幅初級者)

臨書作品を出展して下さい。

- ・半切、半切4分の1つぎ

★一般部の部 C (主に条幅経験者)

臨書作品を出展して下さい。

- ・連落3分の2つぎ、連落4分の1つぎ、全紙4分の一つぎ、全紙、角型(112cm平方以内)

★無鑑査会員

臨書作品を出展して下さい。

- ・全紙2枚つぎ(タテ・ヨコ・角)
- ・卷子・折帖(机上展示)の作品(縦35cm×横400cm以内)

★審査会員・準審査会員

臨書作品を出展して下さい。

- ・全紙2枚つぎ2幅(タテ・ヨコ)、
- ・全紙4枚つぎ、角型(180cm平方以内)
- ・卷子・折帖(机上展示)の作品(縦35cm×横400cm以内)

★支部長協賛の部

臨書作品を出展して下さい。

- ・一般の部 A、B、C に準ずる作品

★高校生の部

臨書作品を出展して下さい。

- ・一般の部 A、B、C に準ずる作品

※開催直前の延期決定であったため、作品集・表具等すでに制作済です。せっかく書いた作品の展示を取り止めるようなことはないと思いますが、展示を取り止める場合でも出品料の返金は致しませんし、表具代は請求されません。ご理解いただき、ご承知おき下さい。

第43回読売学生書展 成績 受賞おめでとうございます。

条幅の部

読売学生俊英賞 中1 細見 洸瑠

審査員推薦 中1 畑 美帆

特選

中3 田村 柚季	中3 加藤 ひさみ
中3 岡本 美優	中2 細見 大志
中2 木村 爽夏	中2 佐伯 茉優
中2 辻井 律希	小6 佐中 美友
小6 水田 紗莉	小5 石高 美聡
小4 平井 莉世	小2 足立 萌仁香
小2 寺本 美琴	

秀逸

中2 太田 葵	中1 中井 美玖
小5 辻井 心	小5 谷垣 彩花
小5 足立 莉央奈	小4 吉田 満里亜
小4 松本 優花	小3 相良 叶音
小3 北村 優羽	小2 清水 桜心
小2 木下 葵陽	

半紙の部

特選 高1 戸田 こころ

以上の方が入賞されました。

金賞 66名 銀賞 47名 銅賞 16名 総計 156名

風信書道会関係より出品された作品の成績です。「特選」以上の作品は、
令和3年12月10日（金）から12日（日）まで、福岡国際センター
（福岡市博多区）で展示されました。



みんなで学ぼう
筆順……漢字

ワンポイント アドバイス(1月号 お手本の字より)

8画

底

部首 广の部

底 (まだれ)

訓 音 テイ 例 底辺 / 底面 / 海底 / 地底

訓 底力 / 底冷え / なべ底

例 底 / 底 / 底 / 底 / 底 / 底 / 底 / 底

7画

初

部首 刀の部

初 (かたな)

訓 音 シヨ 例 初夏 / 初級 / 初日 / 最初

訓 初雪 / 初孫 / 書き初め

例 初 / 初 / 初 / 初 / 初 / 初 / 初 / 初

12画

絵

部首 糸の部

絵 (いとへん)

訓 音 カイ・エ 例 絵画 / 絵の具 / 油絵

例 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵 / 絵

7画

車

部首 車(くるま)の部

車 (くるま)

訓 音 シヤ 例 車道 / 車輪 / 自動車 / 電車

訓 くるま / 例 車座 / 風車 / 歯車

例 車 / 車 / 車 / 車 / 車 / 車 / 車 / 車

8画

画

部首 田(た)の部

画 (た)

訓 音 ガ・カク 例 画用紙 / 画数 / 計画

例 画 / 画 / 画 / 画 / 画 / 画 / 画 / 画

7画

図

部首 口(く)の部

図 (くにがまえ)

訓 音 スト 例 図形 / 図工 / 地図 / 図書

訓 図 (はかる) / 例 再起を図る

例 図 / 図 / 図 / 図 / 図 / 図 / 図 / 図

『小学漢字1006字の書き方辞典』より

[illegible]

入会ご案内

本会員になるには

○個人

- ・住所・氏名（必ずふりがなを明記）
- ・誌代（テキスト代）送料込み
6ヶ月分 4,236円（税込み）／1カ年分 8,400円（税込み・72円値引き）
- ・「新規何月より」を明記の上、現金書留・郵便振替にて下記にご送付下さい。

〈郵便振替〉 口座番号 0116-3-25459 / 口座名義 風信書道会

〈連絡先〉

〒668-0805 兵庫県豊岡市船町263-3 TEL…0796 (22) 5844 FAX…0796 (24) 5800

○団体入会

14名以下を準支部扱いとし、15名以上は、支部を設置することができます。支部には特典があります。現在、誌上にて掲載されている支部名は使わないこと。

誌代（半年分前納）を納付された方は、
本会会員となります。

陰 上垣 海翔	山香 四段 準二段	港東 賞瀬尾	陰△ 福野	小△ 西屋	創△ 熊屋	三△ 荒山	三△ 山根	準四段	山香 △ 安井	陰△ 福場	正△ 岡中	小△ 廣井	高△ 毛戸	三 段	江友 △ 正木	江友 △ 吉野	江友 △ 結風	中△ 植田	港△ 前場	陰△ 蜂須	準三段	円風 △ 佐口	城山 △ 佐中	江友 △ 徳網	小△ 徳網	小△ 徳網	円△ 和津	円△ 和津	港△ 深田	円△ 脇岸	二 段	円△ 賞西	陰△ 長村	山香 △ 米谷	準八段
正勝 中勝 煙中 真凌	準二段	山香 賞清水	若草 △ 笹倉	高屋 △ 松田	中△ 森山	港△ 木瀬	三△ 大岡	初段	山香 △ 賞相	西△ 花中	正△ 西花	小△ 中足	準初段	山香 △ 賞松	若草 △ 中片	若草 △ 中片	1 級	禪勝 植木	2 級	禪勝 宝子	3 級	円△ 廣内	4 級	禪勝 △ 荻野	5 級	縁 △ 嶋田	6 級	城崎 △ 今井	陰△ 中村	京口 △ 奥山	準四段	山香 △ 賞石	正勝 △ 高木	準八段	
三方△ 谷垣 彩花	七 段	笑 △ 杉立	準七段	陰△ 橋本	六 段	正△ 相良	幸 △ 松島	準六段	風信 △ 賞松	朝△ 今村	小△ 藤原	江友 △ 中川	五 段	陰△ 賞邊	正△ 皆本	新△ 坂本	山△ 松本	準五段	城山 △ 賞山	朝△ 伊東	高△ 山田	幸△ 高田	四 段	泰心 △ 賞中	正△ 法太	鳩△ 来井	朝△ 来井	京口 △ 深田	準四段	山香 △ 賞石	正勝 △ 高木	準八段			
城山 △ 細見	山香 △ 大野	京△ 山下	江友 △ 金多	幸△ 三多	幸△ 加藤	幸△ 長谷	幸△ 河端	三 段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 藤原	若草 △ 廣瀬	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山		
禪勝 十倉 友彩	初 段	鳩△ 川舟	小△ 宮光	幸△ 南光	幸△ 由良	幸△ 修文	幸△ 乃文	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 藤原	若草 △ 廣瀬	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	
6 級	禪勝 △ 十倉	準四段	風信 △ 吉田	準七段	八 段	龜岡 △ 平井	準七段	小原 △ 賞山	江友 △ 賞山	五 段	江友 △ 賞山	準五段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	
城山 △ 細見	山香 △ 大野	京△ 山下	江友 △ 金多	幸△ 三多	幸△ 加藤	幸△ 長谷	幸△ 河端	三 段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 藤原	若草 △ 廣瀬	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	
竹野 西岡 陽咲	準初段	森山 △ 村中	城山 △ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 藤原	若草 △ 廣瀬	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
3 級	京△ 山口	禪勝 △ 梅本	鳩△ 高杉	正△ 高杉	正△ 高杉	正△ 高杉	正△ 高杉	4 級	陰△ 村岡	東△ 旗本	禪勝 △ 賞山	小△ 賞山	5 級	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
四 段	城山 △ 賞山	準四段	新△ 賞山	城山 △ 賞山	三 段	幸△ 賞山	江友 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	江友 △ 賞山	三 段	山香 △ 賞山	二 段	陰△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山
城山 △ 賞山	山香 △ 賞山	京△ 賞山	鳩△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	正△ 賞山	準初段	山香 △ 賞山	創△ 賞山	江友 △ 賞山	若草 △ 賞山	準三段	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △ 賞山	城山 △										

[illegible]

[illegible]

(毛筆の部)

[illegible]

こんげつ さくひん
 今月よかった作品 (こうひつ)

4年生

一週間後に船が
 おかえに帰る
 新山 翠五 中江 結羽 愛

中江 結羽 愛

一週間後に船が
 おかえに帰る
 山本 咲帆

山本 咲帆

一週間後に船が
 おかえに帰る
 城山 道四 吉良 菜月

吉良 菜月

一週間後に船が
 おかえに帰る
 正三 木下 葵紫

木下 葵紫

一週間後に船が
 おかえに帰る
 赤心 長瀬 百音

長瀬 百音

一週間後に船が
 おかえに帰る
 東洋 大町 悠莉

大町 悠莉

一週間後に船が
 おかえに帰る
 田中 碧月

田中 碧月

一週間後に船が
 おかえに帰る
 藤本 翔

藤本 翔

4年・3年生

一週間後に船が
 おかえに帰る
 山東 初 筒井 紫千花

筒井 紫千花

一週間後に船が
 おかえに帰る
 柏原 細音

細音

動物園の近くまで
 行った
 城山 水野 志保

水野 志保

動物園の近くまで
 行った
 湯田 澤井 明音

澤井 明音

動物園の近くまで
 行った
 北 花恩

北 花恩

動物園の近くまで
 行った
 田口 心咲

田口 心咲

動物園の近くまで
 行った
 藤原 羽子

藤原 羽子

動物園の近くまで
 行った
 中川 ひなた

中川 ひなた

3年生

動物園の近くまで
 行った
 吉垣 結望

吉垣 結望

動物園の近くまで
 行った
 松山 柚乃 芭

松山 柚乃 芭

動物園の近くまで
 行った
 足立 大河

足立 大河

動物園の近くまで
 行った
 齊田 凜歩

齊田 凜歩

馬の鳴き声かす
 る
 古田 樹奈

古田 樹奈

馬の鳴き声かす
 る
 宮崎 のぞみ

宮崎 のぞみ

馬の鳴き声かす
 る
 清水 桜心

清水 桜心

馬の鳴き声かす
 る
 齊藤 立輝

齊藤 立輝

2年・1年生・幼児

馬の鳴き声かす
 る
 金子 隼人

金子 隼人

馬の鳴き声かす
 る
 藤本 峻平

藤本 峻平

馬の鳴き声かす
 る
 田中 咲心

田中 咲心

ゆめを見ます
 坂本の のか

坂本の のか

ゆめを見ます
 北 莉恩

北 莉恩

ゆめを見ます
 松田 朔和

松田 朔和

ゆめを見ます
 佐古 結

佐古 結

やいゆえよ
 酒井 和真

酒井 和真

こんげつ さくひん こうひつ
 今月よかった作品 (硬筆)

中学生

飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 新山 早雄 西原 叶葉	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 道中 八 山田 亜希	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 江天 準八 川上 紗季	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 風信 準七 木内 瑠輝亜	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 城山 六 谷垣 結心	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 城山 準六 田村 柚季	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 安川 佑奈	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 京口 準五 栗原 華葉
西原 叶葉	山田 亜希	川上 紗季	木内 瑠輝亜	谷垣 結心	田村 柚季	安川 佑奈	栗原 華葉

中学・6年生

飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 宮本 權成	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 森田 千尋	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 与田 航大	飛ぶ鳥のごとく一人に襲いかかり、そのこん棒で奪い取った。 城山 三 齋藤 陽和	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 大武 星愛	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 坂田 成実	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 山本 華瑠	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 城山 五 濱 彩名
宮本 權成	森田 千尋	与田 航大	齋藤 陽和	大武 星愛	坂田 成実	山本 華瑠	濱 彩名

6年・5年生

話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 篠岡 俊浩	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 榎本 明愛	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 竹野 杏那	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 江天 三 真鍋 詩	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 円 三 藤本 結希	話や文字だけでは伝わりにくいので図表を用意した。 山本 初 松山 緋奈乃	この旅館からのながめは絶景と評判です。 陰 五 澤邊 花音	この旅館からのながめは絶景と評判です。 江天 四 中川 安奈
篠岡 俊浩	榎本 明愛	竹野 杏那	真鍋 詩	藤本 結希	松山 緋奈乃	澤邊 花音	中川 安奈

5年生

この旅館からのながめは絶景と評判です。 泰八 四 津田 陽風	この旅館からのながめは絶景と評判です。 正五 準四 石高 美聡	この旅館からのながめは絶景と評判です。 山本 初 森山 愛來	この旅館からのながめは絶景と評判です。 城山 三 黒川 紗矢佳	この旅館からのながめは絶景と評判です。 城山 準六 荻野 陽菜子	この旅館からのながめは絶景と評判です。 谷川 準三 浅葉 朋香	この旅館からのながめは絶景と評判です。 江天 準二 中嶋 彩葉	この旅館からのながめは絶景と評判です。 城山 初 松舟 桃香
津田 陽風	石高 美聡	森山 愛來	黒川 紗矢佳	荻野 陽菜子	浅葉 朋香	中嶋 彩葉	松舟 桃香

しょうだんきゅうしけん さくひん
昇段級試験のよかった作品

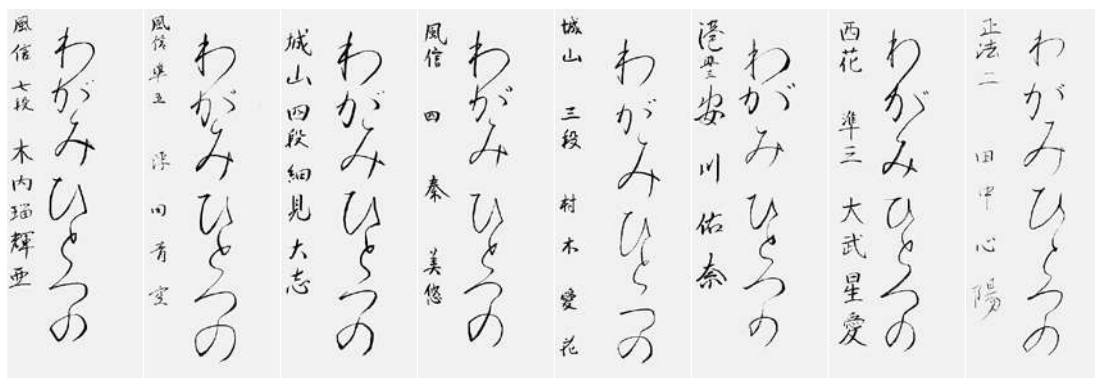
1年生・幼児
ようじ



本山 心葵 藤原ちづる 大島 颯天 松田 朔和 松島 楓 西村 魁真
松本 篤志 山崎 詩星 寺田 花恵 竹内 慶多 上垣 綾菜 西田 樹生

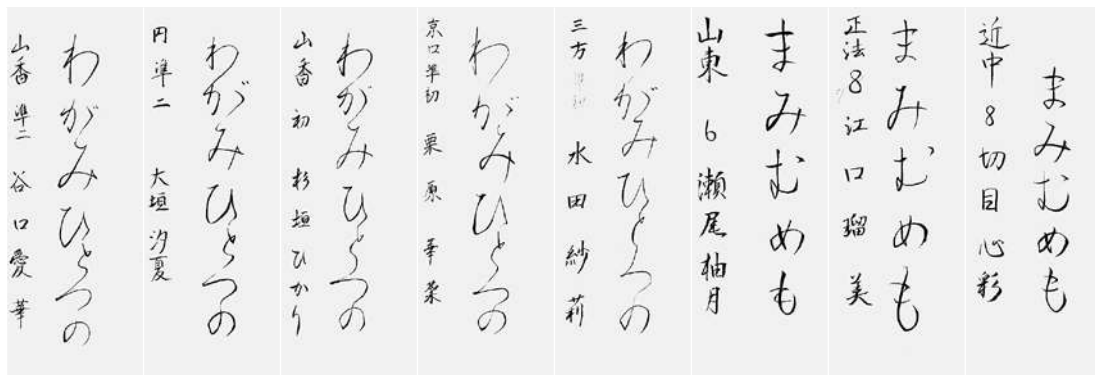
しょうだんきゅうしけん さくひん
昇段級試験のよかった作品

かな①



木内瑠輝亜 浮田 青空 細見 大志 秦 美悠 村木 愛花 安川 佑奈 大武 星愛 田中 心陽

かな②



谷口 愛華 大垣 汐夏 杉垣ひかり 栗原 華菜 水田 紗莉 瀬尾 柚月 江口 瑠美 切目 心彩

しょうだんきゅう し けんゆうしゅうさくひん
昇段級試験優秀作品

3年生①

新山平四 大江 柑奈	生田三 谷村しん介	城崎 水野 志保	正法二 谷 佳央理	城崎 林 晴大	大谷準二 門間才佳
江友初 森田陽香	かげ大上七海	日高特 小谷千咲希	竹野特 川口 結	生田 小坂あおい	太心一 松原 咲菜
大江 柑奈 森田 陽香	谷村 駿介 大上 七海	水野 志保 小谷千咲希	谷 佳央理 川口 結	林 晴大 小坂 葵	門間 才佳 松原 咲菜

3年生②

しろ山五 松浪由芽	小人2 藤原羽子	竹野3 足立大河	東京3 高木心海	東京 薄刃 枝実	江友4 中嶋千嘉
しろ山五 足立まな花	幸6 梶川 琉有	江友8 和田 瑛汰	風信1 木内ひまり	日高8 長岡 咲也	創心9 石田 夢萌
松浪 由芽 足立 愛花	藤原 羽子 梶川 琉有	足立 大河 和田 瑛汰	高木 心海 木内陽舞里	薄刃 枝実 長岡 咲也	中嶋 千嘉 石田 夢萌

2年生①

陰足立ゆいか	正初さ さ山ゆい	新山達 初山本大翔	胡美津初 杉田 萌々花	生田とくねひ より花	東京士田 珠理
生田一 森田 希子	ながや 向井 ゆうし	山香 西岡仁太郎	とう 石ぎき 花すみ	谷川8 大おかあおい	みふと れさかほ
足立 結香 森田 希子	笹山 結衣 向井 優志	山本 大翔 西岡仁太郎	杉田 萌々花 石崎 花有	根兵 和花 大岡 葵	吉田 珠理 脇 香穂

しょうだんきゅう し けんゆうしゅうさくひん
昇段級試験優秀作品

5年生②

山崎 理生 背戸 美空 な 大 き 夢	創心二 楠 悠希 な 大 き 夢	創心二 鳥居 春香 な 大 き 夢	朝来 菜初 南光 海翔 な 大 き 夢	城山 幸初 芽吹 な 大 き 夢	龜岡 雅三 薄刃 あおい な 大 き 夢
東京 石山 仁 菜 な 大 き 夢	朝来 藤次 詩希 な 大 き 夢	東京 三谷 芽伊 な 大 き 夢	竹野 了 甲野 未来 な 大 き 夢	城山 ち足立 心花 な 大 き 夢	陰 菊池 よつば な 大 き 夢
背戸 美空 石山 仁 菜	楠 悠希 藤次 詩希	鳥居 春香 三谷 芽伊	南光 海翔 甲野 未来	畑 芽吹 足立 心花	佐々木 渚智 菊池 よつば

4年生①

竹野 七 足立 真央 化学 化学	小原 四 平野 友莉瑛 化学 化学	江友 三 稲垣 崇一郎 化学 化学	城山 準 吉良 菜月 化学 化学	小人 洋三 新澤 竣平 化学 化学	龜岡 雅三 薄刃 あおい 化学 化学
新山 二 山本 彩乃 化学 化学	柏原 二 蘆田 美羽 化学 化学	谷川 津二 村岡 亨祐 化学 化学	生田 半二 福田 悠那 化学 化学	山香 準三 谷口 凜華 化学 化学	円 準三 西垣 いのり 化学 化学
足立 真央 山本 彩乃	平野 友莉瑛 蘆田 美羽	稲垣 崇一郎 村岡 亨祐	吉良 菜月 福田 悠那	新澤 竣平 谷口 凜華	薄刃 あおい 西垣 いのり

4年生②

龜岡 準三 森 洗志郎 化学 化学	朝来 初 山本 玲奈 化学 化学	渡辺 三 渡辺 萌奈 化学 化学	谷川 輝初 原田 明弥 化学 化学	城山 特級 佐藤 悠音 化学 化学	大月 アレス 化学 化学
創心 特 木戸 陽介 化学 化学	風信 朝 足田 愛莉 化学 化学	上坂 のぞみ 化学 化学	正法 ろ 松田 湊音 化学 化学	城山 木下 美杜 化学 化学	篠山 大江 倅輔 化学 化学
森 洗志郎 木戸 陽介	山本 玲奈 足田 愛莉	渡辺 萌奈 上坂 のぞみ	原田 明弥 松田 湊音	佐藤 悠音 木下 美杜	大月 アレス 大江 倅輔

しょうだんきゅう し けんゆうしゅうさくひん
昇段級試験優秀作品

6年生①

生田準七 待生 堀	西花準七 待生 太武 星	生田ハ 和田夏希	松戸六 齊藤 綾乃	竹野準七 足立さくら	小原準七 原 杏太朗
季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の
堀 中村	桜 凜	大武 瀬尾	星愛 柚月	和田 岸本	夏希 葉月
正注六 中村	山東 第六瀬尾	正注六 岸本 実月	円五 和田 昂樹	城崎六 坂田 成実	正注五 田中美咲
季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の
堀 中村	桜 凜	大武 瀬尾	星愛 柚月	和田 岸本	夏希 葉月

6年生②

谷川準五 西田 百花	山崎四 炭屋 結菜	中崎三 木瀬由梨佳	若草三 片山 沙恵	陰三 岡林 実玖	小人三 熊野 壮
季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の
西田 楠	炭屋 真鍋	木瀬由 岸本 彩希	片山 恵後原煌大	岡林 植木 絢心	熊野 嶋田 怜那
創心 準三 楠	江左準三 真鍋 詩	円準二 岸本 彩希	山香 初恵後原煌大	緑 嶋田 怜那	小人三 熊野 壮
季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の	季秋 語の
西田 楠	炭屋 真鍋	木瀬由 岸本 彩希	片山 恵後原煌大	岡林 植木 絢心	熊野 嶋田 怜那

5年生①

笑七 杉立 優羽	若草準四 深田 梨那	三万五 皆木 彩更	風信五 松木 陽弥	生田準五 市場 葵	谷川四 藤原 奈央
な 夢	な 夢	な 夢	な 夢	な 夢	な 夢
杉立 石高	深田 橋本	皆木 山田	松木 三多優衣南	市場 中川	藤原 伊東
正注四 石高 美聡	陰左四 橋本 結菜	幸四山 田翔大	江左三 三多優衣南	江左三 中川 安奈	城崎三 伊東 日向
な 夢	な 夢	な 夢	な 夢	な 夢	な 夢
杉立 石高	深田 橋本	皆木 山田	松木 三多優衣南	市場 中川	藤原 伊東

中学生①



原 那帆 谷岡 優衣 西原 叶葉 佐伯 茉優 辻井 律希 上垣 若菜 藤本 美優 加藤ひさみ

中学生②



栗原 華菜 村上 太洋 谷口 愛華 荒木 帆波 太田 葵 松島 煌明 清水 里空 清水 菜々

中学生③



池端麻季央 坪倉奈和美 宮崎壮一朗 中井 美玖 中村 紗愛 林 沙月 森田 千尋 西岡穂乃花

しょうがく ようじ
小学・幼児 こうひつ

2年生

読	絵
む	本
。	を
	さ
	が
	し
	て

2がつごうよこく (教科書を広げます。)

1年生

大
き
な
目
で
見
る

2がつごうよこく (たぬきの糸車。)

ようじ
幼児

わ
い
う
え
を
ん

2がつごうよこく (ゆきあそび。)

※風信のエンピツ書き用紙をおつかいください。

30枚つづり1冊60円(消費税込み)で、50冊以上は1割引(但し送料は別)

◎ほかの用紙で出品した場合は用紙違反^{いはん}で※となります。

【2月10日しめきり】

5 年生

4 年生

3 年生

やり取りを正確に聞いて
要点をメモに取る。

2月号予告（本の帯とは表紙にまいてある細長い紙のこと。）

海底の地形図を
たしかめる。

2月号予告（家族と海外旅行に出かける。）

たから島の地図
を見る。

2月号予告（自分だけの詩集を作ろう。）

※風信のエンピツ書き用紙をおつかいください。

30枚つづり1冊60円（消費税込み）で、50冊以上は1割引（但し送料は別）

◎ほかの用紙で出品した場合は用紙違反^{いはん}で※となります。

【2月10日〆切】

かなのきほん
(3級以下～新の人)

中学ペン字

6年生

2月号予告 (腸から吸収され血管を通じて体全体に運ばれる。)

人間も動物も植物もたがいに
心が通じ合うような世界。

2月号予告 (森が消滅するとともに豊かな表層土壌が雨によって浸食された。)

その話を聞いて体が一瞬揺らぐよ
うな不思議な感じに籠られた。

2月号予告 (あいうえお)

ら り る れ ろ
良 利 留 礼 呂
ら わ る れ ろ

※中学生はペン (黒インク)
使用のこと (ボールペン不可)

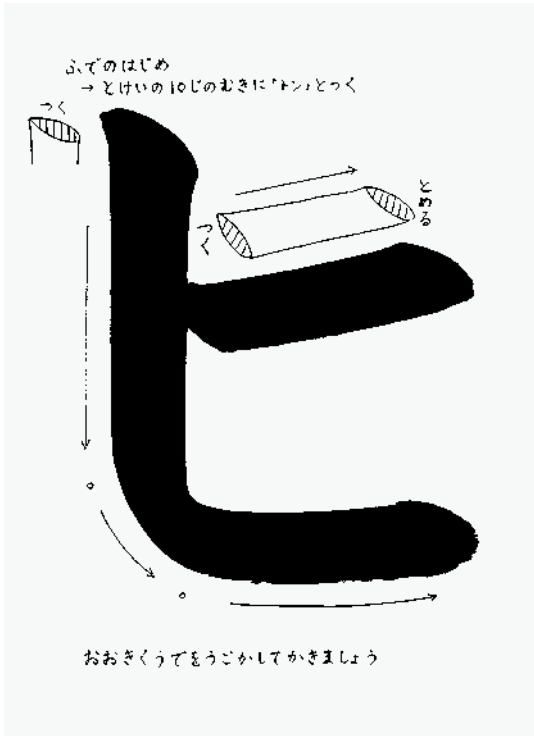
【2月10日 〆切】

がつ とう て ほん
1月号手本のかいせつ

動画を見て家でも書こう！→



幼児（ようじ）



2がつ（こうようこく）（う）

〈お知らせ（訂正）〉

12月号の学生、一般の作品締切日を
1月8日、1月10日としておりましたが、
連休中の郵便等の諸事情を考慮
しまして、1月11日(火)と変更いたします。

よろしくお願いいたします。

上級かな
（2級以上）

解説

百人一首 ②⑤ 名にし負はば逢坂山のさねかづら 人に知られで

くるよしもがな

三条右大臣の歌



2月号予告（いまひとたびの）

※半紙たて半分の大きさに
書くこと。



3 年 生



2月号予告(人生)

2 年 生



2月号よこく(かに)

1 年 生



2がつようこく(大)

(用紙は長半紙)

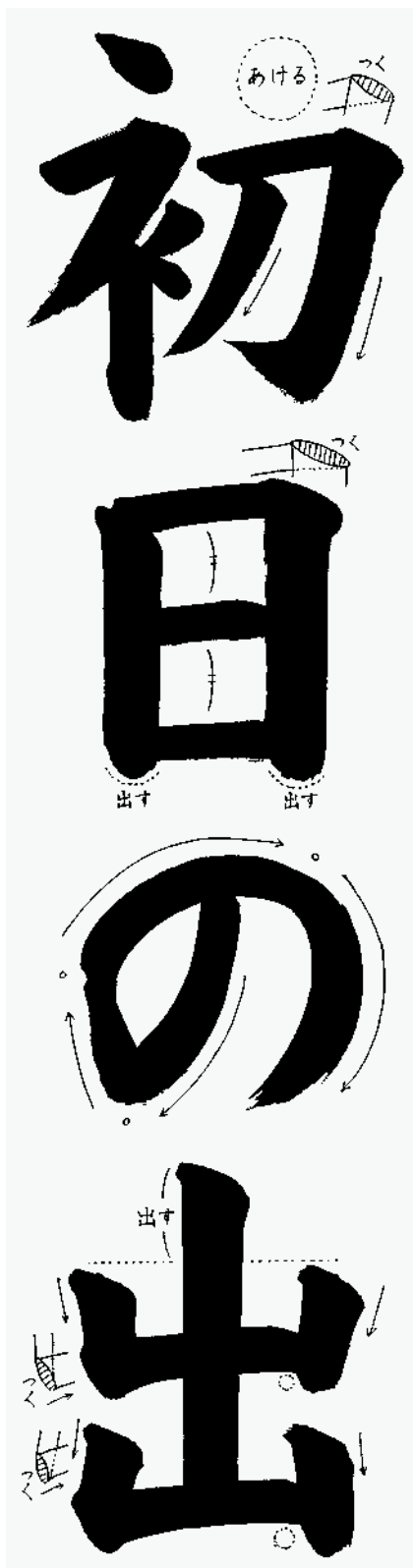


5 年 生

4 年 生



2月号予告 (山鳥)



2月号予告 (広原)

(用紙は長半紙)

(用紙は長半紙)

【2月10日 〆切】



中学生

6年生





風信書道会会長
細川 翠楠



新年おめでとうございます。

学生のみなさん、元気いっぱいよいお正月をおむかえになったことでしょう。

新型コロナウイルス感染症の流行で緊急事態宣言が出たため、第52回風信まつりを今年に延ばすことにしました。しかし、学生のみなさんは同じ作品では学年が一年ちがってくるので今から書いてもらいます。今回は展示出来ると思います。

さて今年「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」の三番め「トラ」歳です。虎は寒いところに住むベンガル、モンゴル、シベリアのものは体が大きく、毛皮が厚いです。暖かいところに住むスマトラ、ジャワ、バリ島のものは体が小さく毛皮も薄いです。虎は木に登ることが出来なく、夜に活動します。体にしまもようがあり、顔は大体まるい形です。日本ではじめて虎のことが書いてあるのは「日本書紀」です。平安時代の鳥獣戯画にはじめて虎の絵があります。「雲は龍に従い、虎は風に従う」という言葉があります。

次に、『風信』では書道（習字）を習って字が上手になるだけでなく、立派な人になるための礼儀、作法を身につけていきます。もう一つは、書道（習字）を習って美しい文字を書き、世の中のために役立てて下さい。そして、風信まつりのようにすばらしい書道（習字）作品を色々な人に見てもらおうことです。右の二つが風信書道会で書道（習字）を学ぶ上で一番たいせつなことです。

昭和二十三年八月二十一日第三種郵便物認可
令和四年一月一日発行

毎月一回
一日発行

【風 信】

第七十五卷

第八百九十五号

ふうしん

風信

がく せい
学 生

れい わ ねん ど しょうだん しょうきゅう し けん もう ひつ せい せき はつ びょう ごう
令和3年度 昇段・昇級試験 (毛筆) 成績発表号

書



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

2022/ 1

ちゅうごく しんじだい ちよう し けん しょ
中国・清時代 趙之謙の書